

2018
11



関西文化の日関連

「わんぱく彫刻探検隊～宝物に出会おう！～」

■開催日時：11月24日（土） 14:00～15:30

■参加者：こども13名と保護者

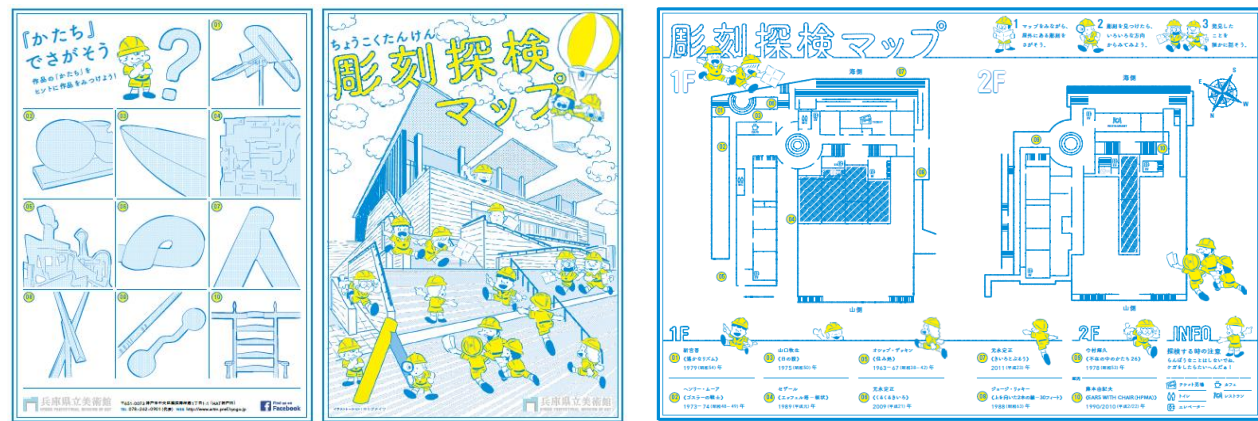
■参加費：無料

■場 所：アトリエ2・美術館周辺

■配布物：彫刻探検マップ

■概要

彫刻探検マップを活用し、美術館内外に設置している彫刻作品を探しにきました。作品に関する問題に挑戦しながら鑑賞することで、彫刻作品に興味・関心を持てるような機会をつくりました。



■参加者の感想

- ・チームのみんなで一緒に彫刻を探したからおもしろかった。
- ・問題やスケッチが楽しかった。
- ・いろいろな彫刻を見てすごいなと思った。
- ・行ったことがないところに行けて楽しかった。

■保護者の声

- ・知らないメンバーと考える力を使って取り組めたことはこどもも楽しそうで良い刺激になりました。
- ・展覧会に行ってもそこしか行かないので、美術館の中にこんなに彫刻があるとは知らなかったです。
- ・普段見過ごしがちな作品と触れ合えてよかった。

探検プロセス

■アイスブレイク

はじめにみんなで一緒にじゃんけん体操をして体をあたためました。バスケの上手なスタッフが体操について教えてくれました。

その後、自己紹介と足を使ったじゃんけん対戦を行い、参加者同士の交流を図りました。



■彫刻探検スタート

「彫刻探検マップ」をもとに探検の順路について作戦会議をしたら、さあ出発！

兵庫県立美術館は西日本最大級を誇る美術館なので、屋外に点在する作品を探し出すのにたくさん歩き回りました。地図と作品の一部が描かれているイラストをヒントに、チームのみんなで相談しながら探検します。

■彫刻に関する10のお題

作品を見つけたら、スタッフから彫刻にまつわるお題が出されます。

作品の重さや大きさを考えたり、かたちや色から連想したり、動く作品を観察してみたり、チームで話し合いながら彫刻と触れ合いました。スケッチのお題では、どんな視点で作品を見たかによってそれぞれの個性がひかりました。



山口牧生の《日の鞍》という作品では、触って日の当たる面の温度を想像しました。

19～23℃、28℃、また時間や天気によって温度が変わるといった鋭い答えも出ました。最後にアトリエに戻ってお題の答えやスケッチを発表しました。

■ふり返って

参加者のみなさんが作品を発見して駆け寄るときのわくわくした姿や作品に関するお題について考えている真剣な表情がとても印象的でした。みなさんの心躍る様子がスタッフにも伝わり、一緒になって探検を楽しみました。音を注意深く聞いたり、風を感じたり、作品に触れて手で温度を感じたり、屋外彫刻ならではの鑑賞体験を楽しんでもらう機会になりました。季節や時間帯によって表情が変わる作品にまた会いにきてください！（三好ミュージアムティーチャー）